

よんでネット

<小学5・6年生>



[NO.22~NO.41]

よんでネットとは…

茅ヶ崎市立図書館では、ボランティアの協力を得て、各年代にあわせた本を季節ごとに紹介しています。それが「よんでネット」です。

図書館本館ではよんでネットコーナーがあり、その季節のリストに掲載された本を置いてあります。今までに紹介された本は、背表紙に「よ」というシールが貼ってあります。シールの色は、春：緑、夏：青、秋：オレンジ、冬：紫と季節ごとに分けてあります。もし本棚で見つけたらぜひ手にとって読んでください。

～協力ボランティアの紹介～

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会

平成13年度の「読み聞かせ講習会」の講師、スタッフが集まり、すべての子どもたちが喜びの中で育ってくれることを願って会を結成。図書館、小学校、学童保育等で読み聞かせ活動を行っています。

小学生・中学生・高校生向けにおすすめ本を紹介する「よんでネット」を季節ごとに発行しています。

目次

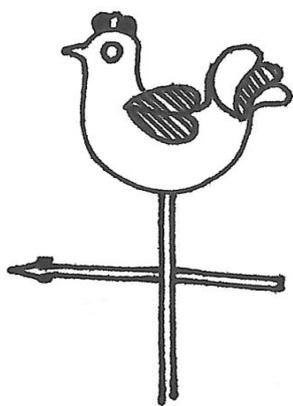
絵本

むかしばなし	1ページ
ものがたり	1ページ
詩・ことば	3ページ
知識の本	4ページ

読み物

むかしばなし	5ページ
ものがたり（日本）	6ページ
ものがたり（外国）	11ページ
詩・ことば	19ページ
知識の本	21ページ

※NO. 22（2007年）～NO. 41（2011年）までに掲載されたものを、それぞれのジャンルごとにまとめて紹介しています。



★絵本…むかしばなし★

1 ハメルンの笛ふき	ロバート・ブラウニング／詩 ケート・グリーンウェイ／絵 矢川澄子／訳
ドイツの町ハメルンに古くから伝わるお話をイギリスの詩人ブラウニングが格調高い詩で語っています。 ネズミを退治してやったのに、お礼をごまかそうとするまちの人びと。そのうちのお礼にかえて、世にも不思議なしらべをかなで町中の子どもをつれ去ってしまったあの笛ふきおとこのお話です。	文化出版局
	E
	2010年 春



★絵本…ものがたり★

1 ウェン王子とトラ	チェン・ジャンホン／作・絵 平岡敦／訳
昔、子どもを猟師に殺された母トラが、人間を憎み、怒りくるって村々をおそいました。王は、占い師の「トラの怒りをしずめるには王子をさしだすしかない」という予言に従い、泣く泣く我が子をさしだします。 トラは、母の心をよみがえらせ、王子をトラとして育てはじめます。トラの元で、たくましく、優しい少年に育つウェン王子。いつしか、王子とトラの間には、強い絆が生まれます。	徳間書店
	E
	2008年 秋
2 おとうさんのちず	ユリ・シュルヴィッツ／作 さくま ゆみこ／訳
戦争がはげしくなり、ぼくのかぞくは遠くの国へのがれた。まずしく、たべるものもなかったのに、おとうさんはパンではなく地図を買ってきた。「ひどい！」ぼくはおこった。けれど、地図にあるふしぎな名前をとなえると、ぼくのころは遠くへ飛んでいった。フクオカ、トムスク、ペンシルバニア……ひもじさも忘れて、ぼくはまほうの時間を過ごすことができました。	あすなろ書房
	E
	2011年 秋

<絵本>

3 十万本の矢	唐亜明／文 于大武／絵
<p>今からおよそ千八百年まえ、中国では魏（ぎ）・呉（ご）・蜀（しょく）の三つの国が天下をあらそっていた。蜀の軍師、孔明（こうめい）は、蜀と呉で力をあわせて魏をうちやぶろうと考え、呉の王に会いに行く。呉の軍師、周瑜（しゅうゆ）は、十万本の矢を十日でつくれと難題をふきかける。が、孔明はわずか三日でやりとげる。智者の孔明が、十万本の矢を手に入れた見事な作戦とは？</p>	岩波書店
	E
	2008年 春
4 水仙月の四日	宮沢賢治／作 赤羽末吉／画
<p>ひとりの子どもが、赤い毛布にくるまって、山の家への道を急いでいました。でもその日は、「水仙月の四日」。おそろしい雪ばんごが、雪わらしや雪おいのをかけまわらせて、ものすごいふぶきを起こさせる日だったのです。急に、風と雪が強くなり「ひゅうひゅうひゅう、ふらすんだよ、とばすんだよ」とあやしい雪ばんごの声が聞こえてきました。東北地方の深い雪の世界を知る賢治だからこそ生み出すことができたお話です。</p>	創風社
	E
	2009年 冬
5 ブライディさんのシャベル	レスリー・コナー／文 メアリー・アゼアリアン／絵 千葉茂樹／訳
<p>1856年、ブライディさんはヨーロッパからアメリカに渡りました。その時彼女が持っていたのは、たった1本のシャベルだけ。希望と不安でいっぱい旅。見知らぬ土地での新しい生活が始まります。うれしいとき、悲しいとき、つらいとき、苦しいとき、ブライディさんの人生はいつも1本のシャベルといっしょでした。</p>	BL出版
	E
	2007年 春
6 魔法のホウキ	C・V・オールズバーク／絵・文 村上春樹／訳
<p>ある日魔女がホウキにまたがって空から落ちてきた。ミンナ・ショウは傷だらけの魔女を助けたが、魔女は翌日ホウキを残していなくなっていた。ホウキは掃除が大好きでせっせと働いた。ところが「あれは悪魔の手先だ」と考える隣のスパイヴィーさんはホウキを燃やしてしまった。その後、夜になるとまっ白なホウキの幽霊が現れて……その幽霊の正体は？</p>	河出書房新社
	E
	2007年 秋

★絵本…詩・ことば★

1 かさぶたってどんなぶた	小池昌代／編 スズキコージ／画
かさぶたって ころんでできた ちゃいろぶた きのうのきんようび とびばこだんだん とんでころげて できたぶた おちゃのじかんに やいゆえよーかん まるごとかじって バームクーヘン(どうもくえへん) ことばであそんで わかれのことばは サイなら さいなら ぶたなら トンズラ!・・・この中にこの本の詩が7つあります。探して みてね。	あかね書房
	E
	2008年 春
2 ながいながいよる	マリオン・デー・バウアー／文 テッド・ルウィン／絵 千葉茂樹／訳
雪が深くつもった静かな夜の森。 あなたは行ったことがありますか？ この本を開いてみてください。 星は氷のようにさえ、月もここえて見えます。 「ここは たださむくてくらいだけ」風がうめきます。 そんな森の中で太陽の目ざめを待ちこがれる生きものたち。その太陽 を目ざめさせたのは…。	岩波書店
	E
	2011年 冬

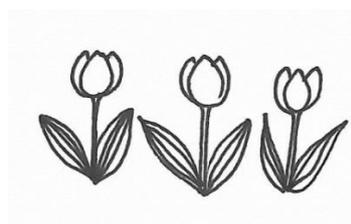
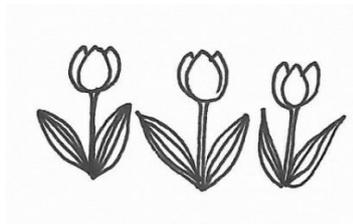
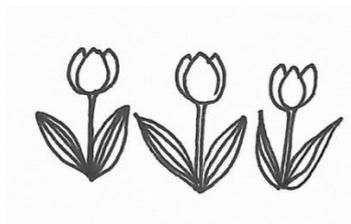


★絵本…知識の本★

1	かいぶつそろそろ 一絵にみるたし算のいきもの	辻村益朗／構成・文
馬の体に鳥の羽のペガソス。白馬のひたいに長いつのはえたユニコーン。昔の人が考えた不思議な怪物たち。よくみると色んな動物のたし算でできている。たし算の王様「龍」は（シカの角）＋（馬の頭）＋（牛の耳）＋（トラのてのひら）＋（タカのツメ）…。知らないものをこわがったり、あこがれたりする気持ちを絵のたし算は形にしてみせてくれるよ。		福音館書店 E 2011年 冬
2	雲のてんらん会	いせひでこ
見開きの画面いっぱいひろがる空。色とりどりの雲がたなびいている。空の高いところにある雲は、もこもこと空の牧場を歩いていくひつじたち。空は刻々と姿をかえる。まるで額縁のない展覧会を見ているようだ。		講談社 E 2009年 夏
3	進化のはなし 地球の生命はどこからきたか	スティーブ・ジェンキンス／作 佐藤見果夢／訳
地球上のあらゆる生物は、それぞれの環境に適した姿に「進化」してきた。トンボ、ゴキブリ、サメなどは、太古のむかし、生き残りやすい形（グッドデザイン）になって、今も生き続けている。しかしほとんどの生物は生き残りやすい形を探しながらも、その99%が「絶滅」し姿を消した。人間は残りの1%の中に入れるだろうか？		評論社 E 2007年 春
4	バスラの図書館員 ーイラクで本当にあった話ー	ジャネット・ウィンター／絵と文 長田弘／訳
アリア・ムハンマド・バクルさんはイラクの港町バスラの図書館員です。2003年春イラクへの侵攻がバスラに達すると、みんなの力をかりて3万冊の本を運び出し安全な所にかくしました。図書館は焼けおちましたが、バクルさんは、平和な日がくるのを信じて、今も本を守り続けています。		晶文社 E 2007年 夏

★読み物…むかしばなし★

1 太陽の木の枝	フィツォフスキ／再話 内田莉莎子／訳 堀内誠一／画
葉は星、花は月、実は太陽でできていて、死んだ人を生きかえらせるという「太陽の木の枝」をさがしに行くジプシーの若者の話。金いろの髪をした「きりの国の王女」を妻にしたジプシーの話。この本には放浪の旅をしながら自由におおらかに生きているジプシーの人々の昔話が22編入っています。	福音館文庫
	989 フ
	2009年 秋
2 ちいさな曲芸師 バーナビー	バーバラ・クーニー／再話・絵 末盛千枝子／訳
バーナビーは、ひとりぼっちの旅芸人。知っているのは、亡くなった父さんから教わった曲芸だけ。飢えと寒さで凍えながら踊っていた冬の日、修道院にひろわれます。クリスマスイブの晩、バーナビーは、ほかの修道士たちが聖母子像の前に贈り物を置いて行くのをじっと見ていました。何も贈り物を持っていなかったからです。自分にできることって・・・？ほんとうの贈り物についておしえられるお話です。	すえもりブックス
	953 ク
	2008年 冬



★読み物…ものがたり（日本）★

1	うそつき大ちゃん	阿部夏丸	
	長野県から引っ越してきた大ちゃんはあることから「うそつきだいちゃん」とよばれるようになったんだ。はじめは、林やあき地でいっしょに遊んだけど、六年生になった今はみんなゲームに夢中。あいかわらず外で遊ぶ大ちゃんは仲間はずれだ。塾からの帰り道、川辺で大ちゃんをみた。「なにしてるんだ・・・？」ぼくは大ちゃんに引きよせられていった。		ポプラ社 913 ア 2010年 夏
2	お江戸の百太郎	那須正幹／作 長野ヒデ子／画	
	百太郎は12さい。とうちゃんは岡っ引きの千次親分。捕りものうでがさっぱりなとうちゃんを助けて江戸の町につぎつぎ起きる事件に立ち向かう。「さらわれたお千賀ちゃんはどこに?」「夜な夜な借金とりならわられるゆうれいととは?」きみもいっしょに事件を推理してみよう。		岩崎書店 913 ナ 2007年 夏
3	月神の統べる森で	たつみや章／作 東逸子／絵	
	はるか太古の昔。すべての自然に神が宿ると信じた縄文びとの平和なムラの暮らしは、自然は征服すべきものと考えた新来の弥生びとのクニに脅かされた。ムラの若き長アテルイ、月神の巫者シクイルケによって運命的な出会いをした二人の少年。動物のカムイに育てられ、翡翠色の目を持つポイシュマと高貴な血を引きながらクニを逐われたワカヒコ。二人はその予言どおり、戦乱の世に平和をもたらそうとするが…。 続編に「地の掟 月のまなざし」「天地のはざま」「月冠の巫王」		講談社 913 タ 2011年 秋
4	獣の奏者 I 闘蛇編 II 王獣編	上橋菜穂子	
	エリンの母は、リョザ神王国の獣の医術師。戦うために飼われている巨大な獣“闘蛇”の世話をしている。決して人に馴れない闘蛇を、特別な笛の音であやつることができた。エリンは、母を誇らしく思い、いつかは自分も…と夢みていた。しかし突然、たくさんの闘蛇が死んでしまい、母は、その責任をとられ、処刑されてしまう。一人生き残ったエリンは、深い山の中で暮らすことになる。そこで最強の獣“王獣”と出会った。		講談社 913 ウ 2007年 冬

5	木かげの家の小人たち	いぬいとみこ／作 吉井忠／画
<p>ケヤキの木にかこまれた家の書庫の天井ちかくに小人たちがすんでいました。英国に帰るミス・マクラランがこの家の主人山下達夫に託したのです。達夫は小人たちのために空色のコップに入れた牛乳を運び続けました。その仕事は、妻から子どもたちへ・・・そして末娘のゆりにまかされました。ところが戦争がはげしくなり…。</p>		<p>福音館書店 913 イ 2008年 夏</p>
6	サッカーボーイズ 再会のグラウンド	はらだみずき／著
<p>ジュニアサッカークラブ桜ヶ丘FCの武井遼介は6年生になってキャプテンの座もレギュラーポジションも失ってしまった。落ち込む遼介に声をかけてくれたのは木暮新監督。 「くよくよするなよ。たのしもうぜ、サッカーを。」 木暮監督のもと個性あふれるイレブンがぶつかりあいながらも、チームとしてのサッカーに目ざめていく。 中学サッカー部での遼介たちが描かれた続編も2冊出ている。</p>		<p>角川書店 913.6 ハ 2010年 春</p>
7	12歳たちの伝説 I～V	後藤竜二／作 鈴木びんこ／絵
<p>学級崩壊をおこし、何人もの先生に見放された6年1組。教室を飛び交う紙飛行機、いじめ、登校拒否。 でも本当は、みんなそんなクラスにうんざりだった。新任の先生は、大きなくまのぬいぐるみを持ってあらわれ、子どもたちのいやがらせにもめげず真剣に話を聞いてくれる。わるふざけをしつつも、元へもどれるチャンスをさがしてゆれうごいている12歳たち…。</p>		<p>新日本出版社 913 ゴ 2009年 春</p>
8	たそかれ 不知の物語	朽木祥／作 山内ふじ江／画
<p>麻と別れ 散在が池にもどった子河童の八寸は、長老に呼ばれ、学校の古いプールに棲む不知を連れ帰るよう命ぜられる。八寸はやっと不知（ふち）に出会えたが、彼は60年前の空襲で焼け死んだ司をずっと待ち続けるという。 ふたたびめぐりあった麻とその友達の河口君のかなでる心にしみいる音楽と不知の霊力を使い、四人は過去へ。司のいる世界へ少しずつ近づいていく。</p>		<p>福音館書店 913 ク 2008年 春</p>

<読み物>

9	つづきの図書館	柏葉幸子／作 山本容子／絵
<p>山神桃さんは、ふるさとの小さな図書館の司書になりました。ある日、男の人がやってきて「つづきが知りたくてたまらん。」と言いました。「本をさがすんですよね。」と、桃さんが言うと「いやいや、本ではない。青田早苗ちゃんのつづきが知りたいんじゃ」なんとその人は、絵本の中から出てきた“はだかの王様”だったのです……。</p>		<p>講談社 913 カ 2010年 冬</p>
10	天山の巫女ソニン 〈一〉 黄金の燕	菅野雪虫／作
<p>生後まもなく『見込まれて』仙人が住むという天山につれていかれ、巫女として育てられたソニン。12年間の修行の後、素質がなく『見込み違い』だったと里に帰される。温かい家族の元で、ふつうの娘として新しい生活を始めたのもつかのま、今度は王子に見込まれ、侍女としてお城に召されるが……落ちこぼれの巫女ソニンの物語。シリーズ第1部。</p>		<p>講談社 913 ス 2007年 秋</p>
11	トモ、ぼくは元気です	香坂直／著
<p>小学生最後の夏休み。ぼくはおじいちゃんの家を追放された。1つ年上の兄、トモの大事なソファをめちゃめちゃにしまったからだ。生まれつき、ほかの子とはちがうトモ。トモのお守りをするのは、もういやだ。おまけに受験勉強にうちこむはずなのに、ふたごの姉妹の強引なさそいで、商店街対抗金魚すくい大会という伝説の一戦に出場するはめになってしまった。</p>		<p>講談社 913 コ 2008年 夏</p>
12	ハッピーノート	草野たき／作 ともこエヴァーソン／画
<p>聡子は6年生。学校では必死にのり子にあわせている自分、塾ではひとりでも平気って顔している自分のことが、悲しくて、つらくて、痛い…。そんな聡子は好きな霧島君と仲良くなるために「ハッピーノート」を交換します。交換日記じゃなくて、目的は苦手科目の克服。一緒に勉強するうち聡子はわがままでも人の言いなりでもない本当の自分のペースをつかんでいきます。</p>		<p>福音館書店 913 ク 2007年 秋</p>

13	肥後の石工	今西祐行／作
江戸時代末期、石づくりの五つのめがね橋がかけられた。これらの橋にはひみつがあった。中央のひとつの石をはずすと石がくずれおち、敵がせめてきたとき城を守るしかけだ。このひみつがもれないように石工たちは殺された。心ならずもたったひとり生き残った親方の岩永三五郎は苦しむ。 二重橋、日本橋など美しい石のアーチ橋をかけた石工を育てた三五郎の物語。		岩波書店 908 イ 2010年 春
14	冬の龍	藤江じゅん／作 GEN／画
12月23日深夜、小学6年生のシゲルは哲（てつ）と雄治（ゆうじ）と3人で、幽霊が出るというお寺に出かけた。そこに現れた青年小槻二郎（おつきじろう）は、〈ケヤキ〉の木の化身だといい、むかし神田川の龍がこの辺に残していった「雷の玉」を大晦日までに見つけないと大変な災いが起こるといふ。そこでシゲルたちは、江戸と東京の地図を手に搜索を始めた。		福音館書店 913 フ 2011年 冬
15	ふるさとは、夏	芝田勝茂／作 小林敏也／画
小学生のみち夫は、田舎のいとこの家で ひと夏すごすことになった。伝統行事バンモチの夜、みち夫と本家の娘ヒスイの間に飛んできた白羽の矢。だれが何のためにうったのか？犯人をさがすふたりの前に、イツオ彦、フタ猫、ブンガブンガキャーなどおかしな神々がつきつきあらわれる。 はたして 犯人は？		福音館書店 913 シ 2011年 夏
16	冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間	斉藤敦夫／作 藪内正幸／画
ドブネズミのガンバと十五ひきの仲間は、島ネズミの忠太たちを助けるために夢見が島に向かいます。ガンバたちを待ちかまえていたのは、恐ろしいイタチのノロイ一族でした。どうもうなだけでなく、頭がいいノロイは、いろいろなわなをしかけてガンバたちを襲います。戦いは何日も続きました。ネズミたちはだれひとりあきらめません。そして、自由を求めた最後の戦いが始まります。（他にも「グリックの冒険」「ガンバとカワウソの冒険」があります）		岩波書店 913 サ 2007年 春

<読み物>

17	ぽっぺん先生の日曜日	舟崎克彦／作
<p>ある日突然、ぽっぺん先生は古いなぞなぞの本の中に入りこんでしまった。なぞなぞを解かなければ外に出られない。ところがそのなぞなぞときたらトンチやヘリクツばかり。「タヌキ、クロブタ、ダチョウ、トガリネズミ。この中で話のおもしろいどうぶつはどれでしょう」とか「服がおふろにゆくとき、ポケットには何が入っているでしょう」とか・・・。</p> <p>さて、ぽっぺん先生は無事に外に出ることができるでしょうか。</p>		<p>岩波書店</p> <hr/> <p>908 イ</p> <hr/> <p>2009年 秋</p>
18	本朝奇談 天狗童子	佐藤さとる／著 村上豊／画
<p>チビ天狗の九郎丸は相州大山の大天狗の従者。否含山（いなふくみやま）の山番人と平の篠笛（しのぶえ）の音色に心ひかれた大天狗は九郎丸を与平に弟子入りさせる。二人は師弟として、きびしいが楽しい日々を過ごしていく。</p> <p>実はこの九郎丸は住吉城城主 三浦高教道香（たかのりどうきょう）の子でお家騒動の難を逃れて天狗に育てられていたのだった。</p>		<p>あかね書房</p> <hr/> <p>913 サ</p> <hr/> <p>2008年 冬</p>
19	緑の模様画	高楼方子
<p>丘の上に建つ女子学園で出会った三人の女の子。仲立ちしたのは『少公女』。木立の中に見つけた秘密の場所は心の窓を開き、三人のきらきらした時間が始まる。いく度となく現れる、正体不明の茶色い瞳の青年。三人をじっと見つめる、こわい顔の白髪の老人。『少公女』へのそれぞれの思いが、時を超えて響きあい、不思議な物語を紡ぐ。</p>		<p>福音館書店</p> <hr/> <p>913 タ</p> <hr/> <p>2009年 春</p>
20	ユウキ	伊藤遊／作 上出慎也／画
<p>ケイタのクラスにやってくる転校生の男の子は、名前がいつも「ユウキ」だ。六年生になって、また転校生がやってくる。偶然が三度も続けばだれだって「もしかしたら今度も…」と考えてしまう。そして、四月、転校生はやっぱり「優希」。でも女の子だった。</p>		<p>福音館書店</p> <hr/> <p>913 イ</p> <hr/> <p>2007年 春</p>

★読み物…ものがたり（外国）★

1 アナベル・ドールの冒険	アン・M・マーティン&ローラ・ゴドウィン／作 ブライアン・セルズニック／絵 三原泉／訳
<p>アナベル・ドールは8歳の女の子。ある日、45年前にとつぜん姿を消したサラおばさんの日記を見つけます。アナベルは残された日記を手がかりに、サラおばさんを捜索することに。じつは、アナベルたちドール一家は、100年前にイギリスで作られた小さな陶製の人形なのです。人形たちは動いているところを人間に見られると……。</p>	偕成社
	933 マ
	2009年 冬
2 あらしの前 あらしのあと	ドラ・ド・ヨング／作 吉野源三郎／訳
<p>オランダの片いなかで暮らすオルト一家。医者のお父さん、やさしい母さん、しっかり者のミーブ、ピアニストをめざすヤップ、勉強がらいだけ元気なヤン、はにかみやでも家族思いのルト、いたずらなピム、赤ちゃんのアンネ。そして、ナチスの迫害を受け、ドイツから逃げてきて、一家にひきとられたユダヤ人少年ヴェルネル。一家は幸せに暮らしていたが、ドイツ軍はとうとうオランダにも侵入してきて……。</p>	岩波書店
	933 ヨ
	2011年 冬
3 イクバルの闘い 世界一勇気ある少年	フランチェスコ・ダダモ／作 荒瀬ゆみこ／訳
<p>パキスタンのじゅうたん工房でファティマたちは奴隷のように働かされ、つらい日々を送っていた。そこへイクバルがきて、「ぼくは怖くない」といった。彼は言葉どおり危険をかえりみず脱走し、「パキスタン児童解放戦線」に助けを求めた。ファティマたちは助けられ、自由になった。イクバルの行動は子どもたちに勇気と力を与えた。ところが… パキスタンで本当にあったお話です。</p>	すすき出版
	973 ダ
	2011年 春
4 イルカの家	ローズマリー・サトクリフ 乾侑美子／訳
<p>16世紀、大航海時代のイギリス。9歳の女の子タムシンは、家族を亡くし、鎧師のおじさんの家にひきとられた。タムシンの夢は、船乗りになって世界の海を冒険することだ。でもそれは、女の子にはかなうわけのない夢。鎧師をつがなければならぬとこのピアスも同じ夢を胸に秘めていた。ふたりは屋根裏部屋で絵図の帆船に「イルカと冒険のよろこび号」と名づけ航海に出かける。かなわぬ夢と思っていたふたりだったが…。</p>	評論社
	933 サ
	2007年 冬

<読み物>

5 エドウィナからの手紙	スーザン・ボナース／作 もきかずこ／訳 ナカムラユキ／画
「拝啓グレンジャー市長殿 わたしはエドウィナ・オズグッドです。」アメリカの少女エドウィナは、まったく同じ名前の大金持ちの大大おばさんのふりをして公園のブランコを修理してくれるように市長あてに手紙を書いた。するとおどろいたことに、ブランコはすぐに修理された。エドウィナは街がよくなるようにと次々手紙を出す、これっていけないこと？	金の星社
	933 ポ
	2010年 秋
6 おじいちゃんの桜の木	アンジェラ・ナネッティ／作 アンナ&エレナ・バルブッソ／絵 長野徹／訳
4歳の男の子トニーノは、おじいちゃんとおばあちゃんが大好き。いなかに行くと、おばあちゃんのお気に入りのガチョウの背中に乗って散歩したり、ママの誕生記念におじいちゃんが植えた桜の木に登ったりする。ふたりが亡くなった後も、トニーノの心の中ではふたりは思い出とともに生きつづけていた。ところがおじいちゃんの思い出の大切な桜の木が切られそうになった。トニーノがとった意外な行動とは・・・。	小峰書店
	973 ナ
	2009年 春
7 消えた王子 上・下	フランシス・ホジソン・バーネット／作 中村妙子／訳
500年前に王子が消えたサマヴィアの国は、争いの絶えない貧しい国になり、人々は苦しんでいた。そんな祖国を救うために、マルコ少年は大切に育てられ、厳しい訓練をつんでいた。尊敬する父から重要任務を託されたマルコは、運命のように出会った少年ラットと共に、命がけの旅に出る。「ランプがとまった」という秘密の合図を伝えるために。	岩波少年文庫
	908 イ
	2011年 秋
8 銀のスケート	M.M.ドッジ／作 石井桃子／訳
ハンスとグレーテルの兄妹は、事故で記憶をなくした父を看病し続ける母と、支えあって暮らしていた。父親が埋めたはずの大金が見つければもっと暮らしは楽になるのに……。ふたりは、スケート競技大会の賞品、銀のスケート靴にあこがれ、大会に出場する。貧しくても正直に生きる兄妹が、オランダを舞台に繰り広げる感動の物語。	岩波少年文庫
	908 イ
	2011年 冬

9 氷の花たば	アリソン・アトリー／作 石井桃子・中川李枝子／訳
<p>冬の嵐の夜、道に迷ったトムは見知らぬ男に助けられた。お礼に家にあるバスケットの中味をあげる約束をさせられる。家に帰ってみるとなんとそれは大切な赤ん坊だった。 やがて雪のように美しく成長した娘のもとに赤いバラがとどくようになり・・・ この「氷の花たば」の他にも5つの不思議なお話が入っています。</p>	岩波少年文庫
	908 イ
	2010年 冬
10 孤島のドラゴン	レベッカ・ラップ 鏡 哲生／訳
<p>ハナ、ザガリ、エミリーのきょうだいは夏休みを昔おばさんが住んでいた別荘で過ごすことにします。別荘にはおばさんからの手紙が残っていました。「もしいくつならドレイクの丘を調べることをおすすめします」3人は探検に出かけます。洞くつには、3つの頭を持つ伝説の竜がすんでいました。3つの頭が順番に語ってくれた昔話はきょうだい1人ずつに関わるお話だったのです。</p>	評論社
	933 ラ
	2010年 夏
11 この湖にボート禁止	ジェフリー・トリーズ／作 リチャード・ケネディ／画 多賀京子／訳
<p>ビルと妹のスーザンは母さんと3人暮らし。湖のそばの山荘に引っ越してきた。見つけたボートで湖の島までこぎ出した兄妹に島の持ち主のアルフレッド卿は「この湖はボート禁止だ」と言う。なぜ島に行ってはいけないのか?何かをかくしているアルフレッド卿の謎を追い秘密をさぐるうちビルたちはついに埋もれた宝物を発見する。</p>	福音館書店
	933 ト
	2007年 夏
12 西遊記(上・下)	呉承恩／作 君島久子／訳 瀬川康男／画
<p>ご存じ、孫悟空の物語。石から生まれた猿の悟空は、神通力を身につけ、大暴れのやりたい放題。お釈迦様に石の下に閉じこめられてしまいます。五百年後、三蔵法師に救われた悟空は、猪八戒、沙悟浄と共に、ありがたい経典を求めて、遠く天竺へと旅に出ます。行く手に立ちふさがるのは妖怪、魔物、甘い誘惑のわな。一行の運命やいかに・・・</p>	福音館書店
	923 ゴ
	2008年 夏

<読み物>

13 ジム・ボタンの機関車大旅行	ミヒャエル・エンデ／作 上田真而子／訳
家2けんほどの広さの小さな島国フクラム国は、住民がみんなで5人。ぎゅうぎゅうづめだ。ジム・ボタン少年と親友の機関士ルーカスは、ふとっちょ機関車エマに乗り、新天地をもとめて冒険の旅に出る。マンダラ国に着いたふたりは、海賊にさらわれ、ミセス・イッポンバにとらわれているリーシー姫をさがしに竜の国へ向かった。	岩波書店
	943 エ
	2008年 春
14 シロクマたちのダンス	ウルフ・スタルク 菱木晃子／訳 堀川理万子／絵
ぼくはラッセ。勉強は苦手だし、先生にもにらまれている。でもシロクマみたいな父さんといっしょにいるとほっとする。父さんとぼくは似た者同士なんだ。母さんは、前歯は黒いけど、なかなかいかしてる。母さんに恋人ができて、母さんとぼくはそいつのところで暮らすことになった。そしてぼくは優等生に大変身。でもこれは本当のぼくなんだろうか？	佑学社
	949 ス
	2007年 冬
15 スピリット島の少女 —オジブウェー族の一家の物語—	ルイーズ・アードリック／作 宮木陽子／訳
19世紀半ば、北アメリカのスピリット島では白人のもたらした天然痘で村人が死に、たったひとり女の赤ちゃんオマーカヤズが生き残った。オジブウェー族のタローに助けられた彼女は、やさしい家族にひきとられ、祖母や母から自然や動物を敬いながら生活していくことを学んでいく。7才の時、再び天然痘がはやり弟が死んでしまう。そんな時、タローがやってきて・・・。	福音館書店
	933 ア
	2011年 夏
16 農場の少年 インガルス一家の物語5	ローラ・インガルス・ワイルダー／作 恩地美保子／訳 ガス・ウィリアムズ／画
学校で勉強するより父さんの農場で働くのが何よりも好きなアルマンゾ。牛や馬の世話はもちろん、広い畑の種まきだって、羊の毛の刈りとりだって、氷を切り取る作業だって、どれもアルマンゾには誇らしく楽しい仕事でした。9歳になった日、アルマンゾは父さんから大事な仕事をまかされました。それは子牛の訓練でした。	福音館書店
	933 ワ
	2010年 秋

17	のっぽのサラ	パトリア・マクララン／作 金原瑞人／訳 中村悦子／絵	徳間書店
ママが死んで何年かたちました。大草原に住むパパとアンナと弟のケイレブのところに、海辺の町からのっぽのサラがやってきました。わたしたちのママになってくれるかもしれない人です。サラは海のこと、水にうかぶことなどいろいろ教えてくれました。ずっとここにいてほしいのにサラは海が恋しくてたまらないみたいです。			933 マ
			2010年 夏
18	ハロウィーンの魔法	ルーマ・ゴッテン／作 渡辺南都子／訳 堀川理万子／絵	偕成社
セリーナは8歳。なにをやってもへまばかりのぶきっちょな女の子。そんなセリーナがまきおこしたハロウィーンの魔法としかいいようのないすてきな物語。それは、セリーナの愛馬ハギスが村はずれにあるマックじいさんの農場に入りこんでしまったことからはじまりました。最初は「へそまがりのくそじい」と思っていたセリーナですが・・・。			933 ゴ
			2008年 秋
19	ビーバー族のしるし	エリザベス・ジョージ・スピア こだまともこ／訳	あすなろ書房
北アメリカの開拓時代、父さんに頼まれ、ひとり丸太小屋を守っていたマットは、ひもじさに負けてミツバチの巣に指をかけ、逆に襲われ水の中ににげたところをインディアンの老人と孫に助けられる。それから彼らにけものをとるワナの作り方、木の枝で作る釣り針、弓矢の作り方など大自然の中で暮らす知恵や心がまえを教えられ大きく成長していく。			933 ス
			2009年 秋
20	秘密の道をぬけて	ロニー・ショッター 千葉茂樹／訳	あすなろ書房
1850年、奴隷制の認められていたアメリカでは、逃亡奴隷やそれを手助けする者には、厳しい罰が課せられていた。10歳のアマンドの両親は、危険をかえりみず、カナダに逃亡するハンナたち黒人一家に手を貸していた。秘密のぬけ穴を通して、川に逃がすという計画だったが、案内役のジョナーさんが時間になっても来ない。父にないしょで、ぬけ穴を何度も通ったことのあるアマンドは、自分が案内すると申し出た。そして、ハンナたち一家の運命はアマンドに託された。			933 シ
			2008年 秋

<読み物>

21	漂泊の王の伝説	ラウラ・ガジェゴ・ガルシア 松下直弘／訳
<p>砂漠のキングダ王国の王子ワリードは聡明で勇敢、美しいカスィーダ（長詩）をつくる詩人でもあった。ところが王国一の詩人を決めるコンクールで貧しいじゅうたん織りの男に三度までもやぶれ名誉を傷つけられてしまう。憎しみにかられたワリードは「人類の歴史を全て織りこんだじゅうたんをつくれ」とできるはずもないことを命じる。男がつくりあげた不思議なおそろしいじゅうたんは、線が動き、うねり・・・</p>		<p>偕成社</p> <p>963 ガ</p> <p>2010年 夏</p>
22	ビンのなかの手紙	クラウド・コルドン／作 デトレフ・ケルステン／絵 高柳英子／訳
<p>あなたは、東ドイツ・西ドイツというふたつの国があったことを知っていますか。国境には、有刺鉄線がはりめぐらされたコンクリートの壁があり、亡命しようとした人は、殺されてしまいました。東ドイツの男の子マツェは、「手紙をください」と書いた紙をビンに入れて、「アメリカやアフリカまで届くといいな」と川に流しました。ところが返事をくれたのは西ドイツの女の子リーカだったのです。ふたりは会う計画を立てますが・・・</p>		<p>佑学社</p> <p>943 コ</p> <p>2009年 夏</p>
23	ベグル・チームの作戦	E.L.カニグスバーグ／作 松永ふみ子／訳
<p>ある日突然、ママがぼくの野球チームの監督になった。しかもコーチは兄さん。監督やコーチが身内だから、ぼくの立場は有利になると思ったけど、その反対だった。チーム事情やチーム内でのぼくの評価までわかっちゃうのはけっこうつらい。チームメイト側、監督側、どちらの様子も知ってしまうぼくの立場はややこしくなるばかり。チームは連敗脱出できるのか？</p>		<p>岩波書店</p> <p>908 イ</p> <p>2010年 冬</p>
24	ミス・ヒッコリーと森のなかまたち	キャロライン・シャーウィン・ベイリー／作 ルース・クリスマン・ガネット／画 坪井郁美／訳
<p>ミス・ヒッコリーは、ヒッコリーの実とリンゴの小枝でできた人形です。ある日、持ち主のアン一家がボストンに行ってしまいました。そこで、親友のカラスの手助けで、リンゴの木の上にぼっぴりかしのさされていたコマドリの巣にひっこします。ひとりぼっちになってもほこり高く生きるミス・ヒッコリーと美しい森の中で暮らす動物たちの物語です。</p>		<p>福音館書店</p> <p>933 ベ</p> <p>2007年 春</p>

25	ミストマントルクロニクル I II III	マージ・マカリストア／著 高橋啓・嶋田水子／訳
<p>リスとカワウソとモグラとハリネズミが、平和に暮らす自然豊かな島 ミストマントル島。ある流れ星の降る夜に、島に流れついた母リスから生まれたアーチン。その出生は秘密にされ、大切に育てられる。</p> <p>平和な島はいつしか王位への野心から生まれる邪悪な勢力におそわれ始める。アーチンのまわりにいる者たちは、島を守るため邪悪な勢力と戦う。</p>		<p>小学館</p> <p>933 マ</p> <p>2008年 冬</p>
26	ミンティたちの森のかくれ家	キャロル・ライリー・ブリンク／著 谷口由美子／訳 中村悦子／絵
<p>ミンティはしっかりものの女の子。何をやっても上手くいかないパパと一緒に住んでいた町を出て伯母さんのところに向かっていきます。</p> <p>しかし、全財産をつんだ車は、森の中で動かなくなってしまいました。そこで見つけた人気のない夏の別荘。パパは、ひと冬こっそりとかくれ住まわせてもらおうと言うのです。</p>		<p>文溪堂</p> <p>933 ブ</p> <p>2011年 冬</p>
27	りこうすぎた王子	アンドリュー・ラング／作 福本友美子／訳
<p>なかなか子どもができない王さまとお妃さまに、やっと生まれた王子さま。妖精たちは おくりものを持ってきた。ところがお妃さまは妖精なんて信じない。腹をたてた妖精はいった。</p> <p>「王子よ、おまえはりこうすぎる王子になるがいい！」</p> <p>りこうすぎてなまいきな王子は、国中からきらわれて、王さまからもじゃまものあつかい。</p>		<p>岩波書店</p> <p>908 イ</p> <p>2011年 春</p>
28	リトルベアー ちいさなインディアンのお宝	リードバンクス／作 渡辺南都子／訳 高橋由為子／絵
<p>オムリが誕生日にもらった小さなインディアン人形が、百年以上も前に生きていた本物のインディアンとしてよみがえってしまった。</p> <p>オムリの目の前では、背だけ7cmほどのインディアンがナイフをにぎり、矢を放つ。</p> <p>オムリが台所から調達してきたコンビーフを食べる。オムリの部屋で始まったインディアンとの共同生活。大人には話せない。さあどうなる？</p>		<p>佑学社</p> <p>933 リ</p> <p>2009年 夏</p>

<読み物>

29	リンゴの丘のベッチィー	ドロシー・キャンフィールド・フィッシャー／作 多賀京子／訳 佐竹美保／絵
<p>赤ちゃんのときに両親をなくしたベッチィーは、町に住む大おばさんに、それはそれは大切に育てられました。 ところが9歳になったある日、大おばさんが病気になり、いなかの農場へ行くことになりました。泣き虫で人にたよってばかりいたベッチィーは、いままでとまったくちがう農場のくらしにとまどうばかりでしたが・・・。</p>		<p>徳間書店 933 フ 2010年 秋</p>
30	ルガルバンダの王子の冒険	キャシー・ヘンダーソン／再話 ジェイン・レイ／絵 百々佑利子／訳
<p>今から5000年以上も前といえば、どんな生活を想像しますか？ 洞穴に住む人びと？いいえ、長い城壁をめぐらせたりっばな都市もいくつかあったのです。そんな豊かな都市のひとつウルク(今のイラク)をエンメルカル王がおさめていました。王の末息子ルガルバンダ(小さい王子)と呼ばれた少年の冒険物語です。これは、ギリシャ・ローマ神話よりも昔に書かれた世界でもっとも古い物語です。</p>		<p>岩波書店 929 ル 2008年 夏</p>
31	ローワンと魔法の地図 (リンの谷のローワン1)	エミリー・ロッタ／作 さくまゆみこ／訳 佐竹美保／絵
<p>リンの谷の川の流れが止まってしまった。山から水がこないのだ。原因は水源の山にあるらしい。だが、山には竜が住んでいるといわれ、道もわからない。<賢い女>は山の地図をくれたが、それは白紙で臆病な少年ローワンが手にしたときだけしか現れない魔法の地図だった。 怖さと戦いながら、ローワンは6人の勇者と共に危険な旅に出た。 続編に「ローワンと黄金の谷の謎」「ローワンと伝説の水晶」 「ローワンとゼバックの黒い影」「ローワンと白い魔物」</p>		<p>あすなろ書房 933 □ 2011年 春</p>

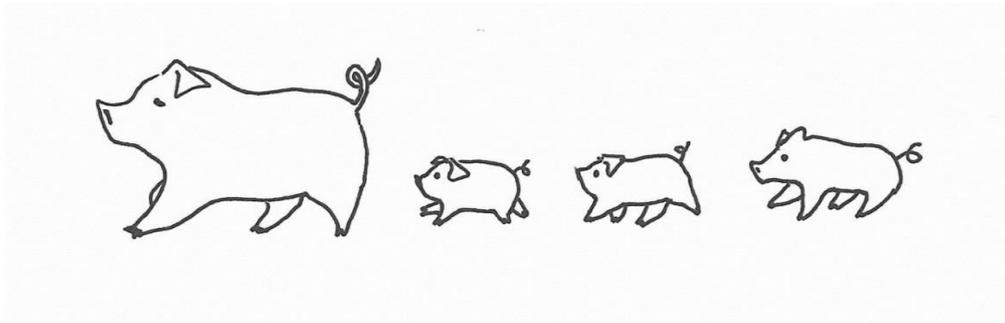


★読み物…詩・ことば★

1	いいけしき	赤坂三好／絵	
	いいけしき 水がよこたわっている／水平に 木が立っている／垂直に 山が坐っている／じつに水平に／じつに垂直に この平安をふるさとにしているのだ ぼくたち／ありとあらゆる生き物が・・・ 今年、百歳を迎えた 詩人まどみちおが切りとった“いいけしき”		理論社 911 マ 2009年 秋
2	ガラガラヘビの味 アメリカ子ども詩集	アーサー・ビナード／木坂涼 編訳	
	お行儀なんか気にしなくていい。そのまま指でつまんでがぶっとかぶりついて大丈夫。ぱっちり こんがり キツネ色のホットケーキ。スパゲッティのたねからできたマカロニ。チキンにすごく似ているガラガラヘビの味はもう絶品！ え？ こわくて食べられない？ そんなこといわずに おためしあれ！ とびきりおいしい 62篇のアメリカの詩。		岩波少年文庫 908 イ 2011年 春
3	ことばあそび5年生 ことばあそび6年生	伊藤英治／編 市居みか／絵	
	“テレビに手が着いたら、どうなるだろう？ 手テレビ テレビ手 手テレビ手。 先生からセをとったら、どうなるだろう？ センイ ンセイ ンイ。 もともと短い背が、これじゃちんちくりんで、だるまみたいにコロコロ・・・”＝伊坂治男・作＝「ことばあそび6年生」より ことばあそびはおもしろい。いくつになってもおもしろい。先生だってこっそり読んでおなかをかかえて笑ってるよ。		理論社 911 ア 2010年 秋
4	サキサキ オノマトペの短歌	穂村弘／編 高畠那生／絵	
	オノマトペとは「さくさく」「ぴたり」など音や状態をあらわす言葉のこと。オノマトペは五・七・五・七・七でつくる短歌にも入ってる。 「サキサキと セロリ噛みいて あどけなき 汝を愛する 理由はいらす（佐佐木幸綱）」サキサキサキサキ・・・なんていい音。いいリズム。 「愛してるよ、サキちゃん」と言いたくなる気持ちのオノマトペの歌。 (めくってびっくり短歌絵本は全部で5冊あります)		岩崎書店 911 ホ 2011年 夏

<読み物>

5 詩集 胸のどどめき	白根厚子 岡野和／絵
ダンコ ダーン ダンダン タダスコ ダーン 兄ちゃん達が打ちならず 大だいこの音きくと なにかが どどめいてくるのだ・・・・・・ おれの ちっちゃこい胸の奥で ダンコ ダーン ダンダン タダスコ ダーン・・・・・・	草炎社
	911 シ
	2009年 夏
6 めくってびっくり俳句絵本1 てのひらの味 食べ物の俳句	村井康司／編 とくだみちよ／絵
南風吹く カレーライスに 海と陸—權未知子— 俳句のとなりのページをめくってみると、おいしそうなかレーライ スの上でサーフィンしている！夏だなあ！ おいしい俳句が14句のってるよ。さあ、いろいろな料理をてのひ らにのせて味みしてごらん。	岩崎書店
	911 ム
	2010年 夏



★読み物…知識の本★

1	あんな雪 こんな氷	高橋喜平／文・写真
<p>雪国に冬がやってきた。木のえだやくいの頭につもった雪をみてみると、あーらふしぎ。キノコかな？大きなヘビだぞ！きょうりゅうのせぼね？風や太陽の熱でできたおもしろいかたち。雪の兄弟、氷だって負けてない。UFO発見！アメーバーがおしよせてきた？水のうごきや空気のあわでできためずらしいかたち。この本は雪や氷のいろいろなかたちに出会える写真絵本です。</p>		<p>講談社 45 夕 2008年 冬</p>
2	いたずら博士の社会の科学の本 絵とき世界の国旗	板倉聖宣／著
<p>世界には190ほどの国旗があります。国旗は大きさ・形・色・デザインなど、国の成り立ちや、人々の思いによって色々です。十字のデザインはキリスト教の国、三日月と星のデザインはイスラム教の国、砂漠の多い国では憧れの色、緑を国旗に使っています。では世界で一番長い国旗は？一番たくさん色を使っている国旗は？みなさんが行ってみたい国の国旗を調べてみるのも楽しいですよ！</p>		<p>仮説社 28 イ 2011年 夏</p>
3	いのちのふるさと 水田稲作 水田は国土と文化をまもる	ジャパンプレス・フォト
<p>水田の役割は、お米を作るだけではありません。水田は洪水を防ぎ、空気をきれいにし、地下水をつくり、気温を調節し、人間が安心して住める環境を守ります。また、日本の水田は2千年米を作り続けることができます。いったいその理由は・・・？！ この本は、美しい写真とわかりやすい文章で、日本の水田稲作のすばらしさを伝えています。</p>		<p>ジャパンプレスフォト 61 ジ 2010年 秋</p>
4	うちの近所のいきものたち	いしもりよしひこ
<p>白いチョウはみんな「モンシロチョウ」だとおもっているあなた。イモムシはすべてガやチョウになると思っているきみ。庭のすみの石をどけて、見知らぬいきものにギョッとされたあなた。そしてカナヘビとトカゲの見分け方を知りたいあなた。この本で知ったおどろきと発見は、きっと友だちにじまんしたくなるよ！</p>		<p>ハッピーオウル社 48 イ 2010年 夏</p>

<読み物>

5 宇宙への秘密の鍵	ルーシー&スティーヴン・ホーキング／作 さくまゆみこ／訳
ある日、ジョージはブタのフレディーを追って、隣の家に入り込んだ。そこでアニーとその父エリック、世界一パワフルなコンピューター〈コスモス〉に出会った。ジョージたちは、コスモスの作った窓から宇宙へ飛び出し惑星やビッグバンに遭遇する。 車いすの物理学者ホーキング博士と娘のルーシーが書いたこの本には、続編「宇宙に秘められた謎」があります。	岩崎書店
	933 ホ
	2009年 秋
6 海は生きている～自然と人間～	富山和子／著
海は私たちに贈り物をしてきました。小魚や貝は牛や鳥の飼料にもなって大地を養い、波の力は輸送力となり、雨や雪は水になってめぐります。また日本人はお米と魚の文化を作り、海の松原に国土を作ってきました。そんな海とのつながりが今壊れ始めています。「川は生きている」から31年、自然と人間シリーズ5冊の完結編です。	講談社
	45 ト
	2010年 春
7 海辺の石ころ図鑑	渡辺一夫／写真・文
海で拾った石ころの名前を調べたことがありますか？この本は、日本の北から南まで94カ所の海岸で集めた石ころの図鑑です。地方別の海岸の砂の様子、石ころの中身など石ころ調べのヒントがいっぱい。 クッキーのような石が見つかるのは城ヶ島の海岸。では石投げ向きの丸くて平べったい石が見つかるのは、さあどこだろう？	ポプラ社
	45 ヲ
	2009年 夏
8 笑顔大好き地球の子	田沼武能／写真・文
地球には、約22億人の子どもがいて、そのほとんどは途上国の子ども。でも、どの国の子どもたちも、精一杯生きている。瞳をキラキラ輝かせている。あふれる笑顔を見ていると、見ているこちらも笑顔になれる。笑顔は万国共通の宝物。地球は、子どもたちの笑顔のをせて回っている。	新日本出版社
	38 タ
	2011年 秋

9 絵で見る ある町の歴史	スティーブ・ヌーン／絵 アン・ミラード／文 松沢 あさか／訳 高岡メルヘンの会／訳	
<p>あなたはこの本で、ある町の誕生から現在までを時代順にたどることができます。はじめは石器時代川のほとりの小さな集落です。そして同じ土地が一万年以上の歳月のあいだに大きく変化し、今ではにぎやかな都会の中心となりました。昔の人々はどんな道具を使い、どんな衣服をまとい、なにを食べていたのでしょうか。タイムトラベラーになって、それぞれの時代を楽しんでください。</p>		さ・え・ら書房
		23 ミ
		2009年 冬
10 エンザロ村のかまど	さくまゆみこ／文 沢田としき／絵	
<p>アフリカのエンザロ村には、ガスも電気も水道もありません。でも、今では手早くお料理を作ることができるし、安全な水を飲むこともできます。いちどに3つの鍋がのせられるかまどがあるからです。この便利なかまどを作ったのは 日本人の岸田袈裟さんです。日本の知恵と手作りの技術が遠いアフリカで役立っているのです。</p>		福音館書店
		33 サ
		2011年 春
11 おじいちゃんは水のにおいがした	今森 光彦／著	
<p>琵琶湖のほとりで出会った漁師のおじいちゃんは、水のにおいがした。それは、心の中の玉手箱をあけたみたいに子どもころの魚釣り、川遊びなど、つぎつぎと思い出させてくれた。「漁をしとる時がいちばん楽しい」というおじいちゃんの魚のとり方、水辺の景色、そこでの生活がきれいな水の流れといっしょに伝わってくる写真の本です。</p>		偕成社
		66 イ
		2008年 夏
12 鬼が出た	大西広／ぶん 梶山俊夫／え	
<p>「鬼は一外！福は一内！」毎年、節分になると、声を張り上げて豆まきをしましょう。それに鬼ごっこ、したことあるでしょう。それではみんなは、鬼のこと、どれくらい知っていますか？この本は、鬼についての“へえ〜”と“なるほど”がいっぱいの「鬼の百科」です。こわがりながら、楽しみながら読んでください。さあ、まず地獄の鬼から始めましょう。</p>		福音館書店
		雑誌
		2007年 冬

<読み物>

13	くらやみでもへっちら	桃井和馬／ぶん 長野ヒデ子／え
<p>夜、家のそとを歩いたことはある？昼間とちがって、あたりがずいぶん暗い。こわい。でもこの本を読むと、くらやみの世界を体験してみたいくなるよ。用意するものは、のみもの、おかし、においのあるもの、かいちゅう電灯1本、手かがみ。 しーい！しずかに。いつもよりびんかんになってきたところはどこかな？くらやみもおもしろいでしょ。</p>		<p>大日本図書 49 カ 2011年 夏</p>
14	木の本	萩原信介／ぶん 高森登志夫／え
<p>春、フキノトウがかおを出し、小鳥たちが歌いだすと次々と木の花が咲き始めます。ウメやサクラ、イチヨウも花が咲くんです。生まれたばかりの小さな葉っぱ、色も形も様々です。山や林、近くの公園や神社にも毎年毎年枝葉を伸ばし、花を咲かせ、実を結んで何十年も生きてきた大きな木があります。足を運んでみてください。大きな木の下に、小さな芽ばえを発見できるかもしれません。</p>		<p>福音館書店 47 ハ 2008年 春</p>
15	球根の旅	さとうち藍／文 海野和男／写真
<p>球根って知っていますよね。水栽培できれいな花をさかせたこともあるかな？そんな球根のおどろきの話。 16世紀ごろのオランダでは、チューリップの球根1ことこうかんできるのは『小麦・ライ麦・馬車4台分・雄牛4頭・豚5頭・ビール4たる・ワイン2たる・バター160kg・チーズ500kg・ベット1台・衣るい・銀のコップ』これぜんぶとだったんですって。知っていたけど知らなかった球根のことがわかる本。</p>		<p>福音館書店 雑誌 2010年 春</p>
16	シートン動物記 私の愛犬ビンゴ	アーネスト・T・シートン／文・絵 今泉吉晴／訳・解説
<p>カナダの農場で育った、いたずらな子犬一人に飼われながらも、ビンゴはオオカミのようなくらしを続けました。そのために、命をうしなうことになって…。 シートンはこのシリーズで、多くの直筆の絵とともに、動物たちの生きる姿と森に住むための知恵を生き生きと伝えています。 シートン動物記は他にも「オオカミ王ロボ」「子ぐまのジョニー」「ワタオウサギのラグ」などたくさんのシリーズがあります。</p>		<p>童心社 48 シ 2011年 秋</p>

17 震度7 新潟中越地震を忘れない	松岡達英／作
2004年10月23日午後5時56分、新潟県中越地方は観測史上初の震度7という巨大地震におそわれた。山は崩れ、大地は裂けた。いのち、わが家、思い出、おだやかな日々…たくさんのものを地震がうばっていった。自然豊かな川口町に住み、この地震を体験した作者が見た震災直後の様子や避難所での生活。新潟中越地震が人々に教えてくれたことは…。	ポプラ社
	36 マ
	2007年 秋
18 せいめいのれきし	バージニア・リー・バートン／文・え いしいももこ／やく
さあ、劇の始まりです。 舞台のプロローグは地球の誕生。1まくは生きものの誕生。2まくでは恐竜の登場。人間はおよそ1万年前の4まくで登場。生きものが誕生した時から、今私たちが生きているこの時までの長い長い“せいめいのれきし”です。	岩波書店
	46バ/E
	2007年 夏
19 太陽と光しょくばいものがたり	藤嶋 昭・かこさとし ほか
太陽エネルギーは、地球をよごさないので、電気や熱以外にもっと役立てる方法はないかと世界中の学者が研究していました。そんななか日本のある科学者が酸化チタンという鉱物を光にあてると、いろいろ不思議なことが起こることをはっけんしました。ほんと、ふしぎなことです。 実験やイラストでわかりやすく説明してありますから理科が苦手なあなたもぜひ読んで！	偕成社
	43 タ
	2010年 冬
20 トイレのおかげ	森枝雄司／写真・文 はらさんぺい／絵
学校のトイレに行くのは、少しはずかしい？夜のトイレはこわい？でも人は毎日トイレのお世話になっている。 バルセロナでクリスマスに飾る人形とは？フランスのヴェルサイユ宮殿にトイレがなかったってほんと？ジェット機のトイレのしくみはどうなっているの？など人とトイレのながいつきあいを歴史や文化をひもときながらたどります。	福音館書店
	38 モ
	2008年 冬

<読み物>

21 地球動物記	岩合光昭	
<p>写真家岩合光昭は37年間書きためた日記と写真をカレンダーのように並べてみた。「1月のカレンダー」では、日本ザルの子が雪玉で遊んでいる。アフリカのセレンゲティ平原ではヌーがあちらこちらで出産している。そしてニュージーランドの飛べない鳥たちは人間が持ち込んだ動物におびえている。さあ、いっしょに自然のこと動物のことを知る旅に出かけよう！</p>		福音館書店
		48 イ
		2007年 冬
22 ツキノワグマ	宮崎学／作	
<p>最近、クマが人間の身近な場所にあらわれて、ゴミをあさったり、人をおそったりして問題になっています。高速道路の騒音におびえることもなく、人間の存在にもなれてしまった新世代のクマたち。では、私たちはそんなクマたちとどんなふうに付き合っていけばよいのでしょうか。この本をかいたのは、日本の自然をテーマに40年以上も撮影し続けてきた写真家です。</p>		偕成社
		65 カ
		2007年 秋
23 箸の絵本 つくってあそぼう30	兵左衛門／へん つちはしとしこ／え	
<p>私たちが毎日使っている“お箸”。じつはお箸だけで食べているのは世界中で日本だけだって知ってた？中国や韓国と日本のお箸はどこが違うの？自分にぴったりの箸の長さはどう測るの？とっても身近な道具なのに、お箸には色んな不思議がたくさんつまってる！箸の作り方もっているから、チャレンジしてみよう！</p>		農文協
		50 ノ
		2010年 冬
24 ツバル 海拔1メートルの島国、その自然と暮らし	遠藤秀一／写真・文	
<p>ツバルという国を知っていますか？日本からはるか南、赤道を越えた南太平洋に浮かんでいる9つの小さな島々、それが「ツバル」です。熱帯の豊かな自然に支えられて、人々は、おおらかに暮らしています。そんなツバルに危機が訪れようとしています。地球温暖化により海面が上昇し、島が100年後には海の中へ沈んでしまうというのです。</p>		国土社
		29 エ
		2008年 夏

25	ドードーを知っていますか —わすれられた動物たち—	シヨーン・ライス／絵 ポール・ライスとピーター・メイリー／文 斉藤たける／訳
<p>「ドードー」とはポルトガル語で「おばかさん」という意味だそうです。のろまなうえ、おいしかったドードーはまたたくまに人間に食べつくされてしまいました。ハワイオーオーという鳥はうつくしかつたために殺され、今ではケープにされた羽だけが残っています。このように、人間のせいで絶滅し、この世から消えた16種の動物が美しいイラストで紹介されています。</p>		<p>福武書店</p> <p>48 ラ</p> <p>2008年 秋</p>
26	土のコレクション ふしぎコレクション3	栗田宏一
<p>いろいろな色の小さな山がたくさんならんでいる。この山はいったいなんだろう？これはぜんぶ土。日本中の畑、野原、田んぼ、がけ、その他の所からあつめた土のコレクション。ものすごい数の土は、できかたもいろいろ。今までなにげなくふんでいた土から、いろいろなことがわかってくる。そして人間は土のおかげで生きているということも・・・。</p>		<p>フレーベル館</p> <p>40 ク</p> <p>2011年 夏</p>
27	冒険図鑑—野外で生活するために—	さとうち藍／文 松岡達英／絵
<p>野外で楽しく安全に生活するための知恵がギュッとつまった一冊です。疲れないで長時間歩くコツや、雲の変化で天気を予測する方法。ほうちょうの持ち方から、竹づつごはんの作り方まで。そして気になる野外でのトイレ。読むと確かめに出かけたくなるよ。手旗信号って知ってる？友達といっしょに覚えたら、ふだんの生活の中でもおもしろそうだよ。</p>		<p>福音館書店</p> <p>78 サ</p> <p>2007年 夏</p>
28	ほら、きのこが・・・	越智典子／文 伊沢正名／写真
<p>カニノツメ、イカタケ、ベニヒガサ。これは何の名前かわかりますか？みんなきのこの名前です。カニノツメはカニそっくり。イカタケは・・・？この本にはきのこのふしぎがたくさん詰まっています。 きのこは何でできてるの？ きのこのたまごを知っている？ きのこの食べ物ってなに？ さあ、本を開いてきのこのふしぎを見にいこう！</p>		<p>福音館書店</p> <p>47 才</p> <p>2009年 秋</p>

<読み物>

29	見てわかるクジラ百科 クジラの超能力	水口博也／著 河合晴義／絵
地球上に生まれた最大の動物、クジラ。海に生きるぼくらの仲間はいったいどんな動物なんだろう。1時間近くも深海に潜り、何十トンもの巨体を宙に躍らせる。海中で言葉をかわし、暗闇でも獲物を見つけることができる。 おどろきがいっぱいのクジラのくらしをさぐってみよう。		講談社 48 ミ 2009年 春
30	みるずかん・かんじるずかん えもじ	谷川俊太郎／文 堀内誠一／構成
魚ということばを知らなくても、魚の絵をかけば、ひとめで魚とわかるよね！洋服についている洗濯方法や道路や駅の案内標識、地図記号や家紋など、わたしたちの身のまわりには、たくさんの絵文字があって、けっこうお世話になっている。絵文字は世界中の人びとをむすぶ、わかりやすく、おぼえやすい楽しい文字だ。ぜひ、君もチェックしてみて！		福音館書店 80 タ 2009年 春
31	0. 1ミリのタイムマシン	須藤斎／著
作者は、0. 1ミリのケイソウの化石を研究する古生物学者です。ケイソウ化石を調べると、地球環境の変化を知ることができます。世界で初めて、ある時代爆発的に増えた「お休みケイソウ」を見つけ、その謎に迫る様子が、丹念なイラストとともに書かれています。研究の失敗や、苦手な英語を克服して、地球の謎解きに動き出す様子が伝わってきます。		くもん出版 45 ス 2009年 冬
32	和菓子のほん	中山圭子／文 阿部真由美／絵
和菓子は日本の四季のうつりかわりを色や形であらわしています。そしてひとつひとつに“雪の花”“こぼれ梅”“野あそび”“花ふぶき”など美しい名前がついています。年中行事に結びついたひなあられや柏餅などの和菓子は、子どもの成長や家族の健康を願って味わいます。あなたも和菓子を食べながら日本の自然の美しさを感じてみませんか？		福音館書店 59 ナ 2009年 冬

おもしろそう！読んでみたい！続きが気になる！

でも待って・・・

★ここに載っている本はどこにあるの？

茅ヶ崎市立図書館にあります。

インターネットや検索機で本の場所が確認できます。

貸出中などで本がないときは予約ができます。

わからないことがあったら、おたずねください。

★検索したけど、本の場所がわからない。
請求記号って何？

請求記号とは、本の種類ごとに決まっている番号のことで0～9門に別れています。例えば、料理は5門、小説は9門となりますがそれぞれの門のなかでさらに細かい分類があります。

詳しくは「日本十進分類法」に書いてあります。

図書館では、請求記号で本がまとまっています。

★本棚を探したけど、見つけれられない・・・

誰かが読んでいたり、貸出中の本や地下にある本かもしれません。

調べますので、図書館職員におたずねください。



索引（五十音順）

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
あ	アナベル・ドールの冒険	11	933 マ	2009 年 冬 号
	あらしのあと	11	933 ヨ	2011 年 冬 号
	あらしの前	11	933 ヨ	2011 年 冬 号
	あんな雪 こんな氷	21	45 タ	2008 年 冬 号
	いいけしき	19	911 マ	2009 年 秋 号
	イクバルの闘い世界一勇気ある少年	11	973 ダ	2011 年 春 号
	イルカの家	11	933 サ	2007 年 冬 号
	ウェン王子とトラ	1	E	2008 年 秋 号
	うそつき大ちゃん	6	913 ア	2010 年 夏 号
	うちの近所のいきものたち	21	48 イ	2010 年 夏 号
	宇宙への秘密の鍵	22	933 ホ	2009 年 秋 号
	海は生きている～自然と人間～	22	45 ト	2010 年 春 号
	海辺の石ころ図鑑	22	45 ワ	2009 年 夏 号
	笑顔大好き地球の子	22	38 タ	2011 年 秋 号
	絵で見る ある町の歴史	2	23 ミ	2009 年 冬 号
	エドウィナからの手紙	13	933 ボ	2010 年 秋 号
	絵とき世界の国旗	21	28 イ	2011 年 夏 号
	エンザロ村のかまど	23	33 サ	2011 年 春 号
	お江戸の百太郎	6	913 ナ	2007 年 夏 号
	おじいちゃんの桜の木	12	973 ナ	2009 年 春 号
	おじいちゃんの水のおいがした	23	66 イ	2008 年 夏 号
	おとうさんのちず	1	E	2011 年 秋 号
	鬼が出た	23	雑誌	2007 年 冬 号
か	かいぶつぞろぞろ	4	E	2011 年 冬 号
	かさぶたってどんなぶた	3	E	2008 年 春 号
	ガラガラヘビの味	19	908 イ	2011 年 春 号
	ガンバとカワウソの冒険	9	908 イ	2007 年 春 号
	消えた王子 上・下	12	908 イ	2011 年 秋 号
	木の本	24	47 ハ	2008 年 春 号
	球根の旅	24	雑誌	2010 年 春 号
	銀のスケート	12	908 イ	2011 年 冬 号
	雲のてんらん会	4	E	2009 年 夏 号
	くらやみでもへっちゃら	24	49 カ	2011 年 夏 号
	グリックの冒険	9	908 イ	2007 年 春 号
	月神の統べる森で	6	913 タ	2011 年 秋 号
	獣の奏者 I 闘蛇編 II 王獣編	6	913 ウ	2007 年 冬 号
	氷の花たば	13	908 イ	2010 年 冬 号

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
	木かげの家の小人たち	7	913 イ	2008 年 夏 号
	孤島のドラゴン	13	933 ラ	2010 年 夏 号
	ことばあそび5年生	19	911 ア	2010 年 秋 号
	ことばあそび6年生	19	911 ア	2010 年 秋 号
	この湖にボート禁止	13	933 ト	2007 年 夏 号
さ	西遊記(上・下)	13	923 ゴ	2008 年 夏 号
	サキサキ オノマトペの短歌	19	911 ホ	2011 年 夏 号
	サッカーボーイズ 再会のグラウンド	7	913.6 ハ	2010 年 春 号
	シートン動物記 私の愛犬ビンゴ	24	48 シ	2011 年 秋 号
	詩集 胸のどどめき	20	911 シ	2009 年 夏 号
	ジム・ボタンの機関車大旅行	14	943 エ	2008 年 春 号
	12歳たちの伝説 I～V	7	913 ゴ	2009 年 春 号
	十万本の矢	2	E	2008 年 春 号
	シロクマたちのダンス	14	949 ス	2007 年 冬 号
	進化のはなし	4	E	2007 年 春 号
	震度7 新潟中越地震を忘れない	25	36 マ	2007 年 秋 号
	水仙月の四日	2	E	2009 年 冬 号
	水田稲作 水田は国土と文化をまもる	21	61 ジ	2010 年 秋 号
	スピリット島の少女	14	933 ア	2011 年 夏 号
	せいめいのれきし	25	46バ/E	2007 年 夏 号
た	太陽と光しょくばいものがたり	25	43 タ	2010 年 冬 号
	太陽の木の枝	5	989 フ	2009 年 秋 号
	たそかれ 不知の物語	7	913 ク	2008 年 春 号
	ちいさな曲芸師 バーナビー	5	953 ク	2008 年 冬 号
	地球動物記	26	48 イ	2007 年 冬 号
	ツキノワグマ	26	65 カ	2007 年 秋 号
	土のコレクション	27	40 ク	2011 年 夏 号
	つづきの図書館	8	913 カ	2010 年 冬 号
	ツバル	26	29 エ	2008 年 夏 号
	てのひらの味 食べ物の俳句	20	911 ム	2010 年 夏 号
	天狗童子 本朝奇談	10	913 サ	2008 年 冬 号
	天山の巫女ソニン〈一〉 黄金の燕	8	913 ス	2007 年 秋 号
	トイレのおかげ	25	38 モ	2008 年 冬 号
	ドードーを知っていますか	27	48 ラ	2008 年 秋 号
	トモ、ぼくは元気です	8	913 コ	2008 年 夏 号
な	ながいながいよる	3	E	2011 年 冬 号
	農場の少年 インガルス一家の物語5	14	933 ワ	2010 年 秋 号
	のっぼのサラ	15	933 マ	2010 年 夏 号
は	箸の絵本	26	50 ノ	2010 年 冬 号

	タイトル	ページ	請求記号	掲載された号
	バスラの図書館員	4	E	2007年夏号
	ハッピーノート	8	913ク	2007年秋号
	ハメルンの笛ふき	1	E	2010年春号
	ハロウィーンの魔法	15	933ゴ	2008年秋号
	ビーバー族のしるし	15	933ス	2009年秋号
	肥後の石工	9	908イ	2010年春号
	秘密の道をぬけて	15	933シ	2008年秋号
	漂泊の王の伝説	16	963ガ	2010年夏号
	ビンのなかの手紙	16	943コ	2009年夏号
	冬の龍	9	913フ	2011年冬号
	ブライディさんのシャベル	2	E	2007年春号
	ふるさとは、夏	9	913シ	2011年夏号
	ベーグル・チームの作戦	16	908イ	2010年冬号
	冒険者たち	9	913サ	2007年春号
	冒険図鑑	27	78サ	2007年夏号
	ぽっぺん先生の日曜日	10	908イ	2009年秋号
	ほら、きのこが・・・	27	47オ	2009年秋号
ま	魔法のホウキ	2	E	2007年秋号
	ミス・ヒッコリーと森のなかまたち	16	933ベ	2007年春号
	ミストマントルクロニクル I II III	17	933マ	2008年冬号
	見てわかるクジラ百科 クジラの超能力	28	48ミ	2009年春号
	緑の模様画	10	913タ	2009年春号
	みるずかん・かんじるずかん えもじ	28	80タ	2009年春号
	ミンティたちの森のかくれ家	17	933ブ	2011年冬号
や	ユウキ	10	913イ	2007年春号
ら	りこうすぎた王子	17	908イ	2011年春号
	リトルベアー ちいさなインディアンの秘密	17	933リ	2009年夏号
	リンゴの丘のベッチィー	18	933フ	2010年秋号
	ルガルバンダの王子の冒険	18	929ル	2008年夏号
	0.1ミリのタイムマシン	28	45ス	2009年冬号
	ローワンと魔法の地図	18	933ロ	2011年春号
わ	和菓子のほん	28	59ナ	2009年冬号

索引 (季節別)

春

★絵本★

○		ページ	請求記号
○	むかしぼなし		
	ハメルンの笛ふき	1	E
○	ものがたり		
	十万本の矢	2	E
	ブライディさんのシャベル	2	E
○	詩・ことば		
	かさぶたってどんなぶた	3	E
○	知識の本		
	進化のはなし	4	E

★読み物★

○	ものがたり (日本)		
	ガンバとカワウソの冒険	9	908 イ
	グリックの冒険	9	908 イ
	サッカーボーイズ 再会のグラウンド	7	913.6 ハ
	12歳たちの伝説 I ~ V	7	913 ゴ
	たそかれ 不知の物語	7	913 ク
	肥後の石工	9	908 イ
	冒険者たち	9	913 サ
	緑の模様画	10	913 タ
	ユウキ	10	913 イ
○	ものがたり (外国)		
	イクバルの闘い 世界一勇気ある少年	11	973 ダ
	おじいちゃんの桜の木	12	973 ナ
	ジム・ボタンの機関車大旅行	14	943 エ
	ミス・ヒッコリーと森のなかまたち	16	933 ベ
	りこうすぎた王子	17	908 イ
	ローワンと魔法の地図	18	933 コ
○	詩・ことば		
	ガラガラヘビの味	19	908 イ
○	知識の本		
	海は生きている~自然と人間~	22	45 ト
	エンザロ村のかまど	23	33 サ
	木の本	24	47 ハ
	球根の旅	24	雑誌
	見てわかるクジラ百科 クジラの超能力	28	48 ミ
	みるずかん・かんじるずかん えもじ	28	80 タ

夏

★絵本★

○		ページ	請求記号
○	知識の本		
	雲のてんらん会	4	E
	バスラの図書館員	4	E

★読み物★

○	ものがたり (日本)		
	うそつき大ちゃん	6	913 ア
	お江戸の百太郎	6	913 ナ
	木かげの家の小人たち	7	913 イ
	トモ、ぼくは元気です	8	913 コ
	ふるさととは、夏	9	913 シ
○	ものがたり (外国)		
	孤島のドラゴン	13	933 ラ
	この湖にボート禁止	13	933 ト
	西遊記(上・下)	13	923 ゴ
	スピリット島の少女	14	933 ア
	のっぽのサラ	15	933 マ
	漂泊の王の伝説	16	963 ガ
	ビンのなかの手紙	16	943 コ
	リトルベアー ちいさなインディアン秘密	17	933 リ
	ルガルバンダの王子の冒険	18	929 ル
○	詩・ことば		
	詩集 胸のどどめき	20	911 シ
	サキサキ オノマトペの短歌	19	911 ホ
	てのひらの味 食べ物俳句	20	911 ム
○	知識の本		
	絵とき世界の国旗	21	28 イ
	うちの近所のいきものたち	21	48 イ
	海辺の石ころ図鑑	22	45 ワ
	おじいちゃんは水のおいがした	23	66 イ
	くらやみでもへっちゃら	24	49 カ
	せいめいのれきし	25	46バ/E
	土のコレクション	27	40 ク
	ツバル	26	29 エ
	冒険図鑑	27	78 サ

索引 (季節別)

秋

★絵本★

○ ものがたり	ページ	請求記号
ウェン王子とトラ	1	E
おとうさんのちず	1	E
魔法のホウキ	2	E

★読み物★

○ むかしぼなし	ページ	請求記号
太陽の木の枝	5	989 フ
○ ものがたり (日本)		
月神の統べる森で	6	913 タ
天山の巫女ソニン〈一〉黄金の燕	8	913 ス
ハッピーノート	8	913 ク
ぼっぺん先生の日曜日	10	908 イ
○ ものがたり (外国)		
エドウィナからの手紙	12	933 ボ
消えた王子 上・下	12	908 イ
農場の少年 インガルス一家の物語5	14	933 ワ
ハロウィーンの魔法	15	933 ゴ
ビーバー族のしるし	15	933 ス
秘密の道をぬけて	15	933 シ
リンゴの丘のベッチィー	18	933 フ
○ 詩・ことば		
いいけしき	19	911 マ
ことばあそび5年生	19	911 ア
ことばあそび6年生	19	911 ア
○ 知識の本		
笑顔大好き地球の子	22	38 タ
宇宙への秘密の鍵	22	933 ホ
震度7 新潟中越地震を忘れない	25	36 マ
水田稲作 水田は国土と文化をまもる	21	61 ジ
ツキノワグマ	26	65 カ
ドードーを知っていますか	27	48 ラ
ほら、きのこが...	27	47 オ
私の愛犬 ビンゴ	24	48 シ

冬

★絵本★

○ ものがたり	ページ	請求記号
水仙月の四日	2	E
○ 詩・ことば		
ながいながいよる	3	E
○ 知識の本		
かいぶつぞろぞろ	4	E

★読み物★

○ むかしぼなし	ページ	請求記号
ちいさな曲芸師 バーナビー	5	953 ク
○ ものがたり (日本)		
獣の奏者 I 闘蛇編 II 王獣編	6	913 ウ
つづきの図書館	8	913 カ
天狗童子 本朝奇談	10	913 サ
冬の龍	9	913 フ
○ ものがたり (外国)		
アナベル・ドールの冒険	11	933 マ
あらしのあと	11	933 ヨ
あらしの前	11	933 ヨ
イルカの家	11	933 サ
銀のスケート	12	908 イ
氷の花たば	13	908 イ
シロクマたちのダンス	14	949 ス
ベーグル・チームの作戦	16	908 イ
ミストマントルクロニクル I II III	17	933 マ
ミンティたちの森のかくれ家	17	933 ブ
○ 知識の本		
あんな雪 こんな氷	21	45 タ
絵で見る ある町の歴史	23	23 ミ
鬼が出た	23	雑誌
太陽と光しよくばいものがたり	25	43 タ
地球動物記	26	48 イ
トイレのおかげ	25	38 モ
箸の絵本	26	50 ノ
0.1ミリのタイムマシン	28	45 ス
和菓子のほん	28	59 ナ

よんでネット <小学5・6年生>

NO. 22～NO. 41

平成27年（2015年）3月発行

茅ヶ崎図書館・子どもの本の会／編

編集・発行／茅ヶ崎市立図書館

〒253-0053

茅ヶ崎市東海岸北一丁目4番55号

電話 0467（87）1001（代）

FAX 0467（85）8275

ホームページ <http://www.lib.chigasaki.kanagawa.jp/>

メールアドレス library@city.chigasaki.kanagawa.jp

